

【お知らせ】ホームページでも閲覧できます。「企業情報」からご覧ください。

## 最近の話題

### 投薬後のフォローアップの患者評価

本年12月1日に開催された中医協総会で、2020年度に診療報酬改定された「かかりつけ薬剤師・薬局の評価」を含む調剤報酬改定の影響を見るための調査結果が示されました<sup>1)</sup>。

#### 1) 糖尿病患者のフォローアップ

糖尿病患者フォローアップを薬局に指示した場合、医療機関が感じるメリットとして、「患者が正しく服用できるようになった」「アドヒアランスの向上」「服用などの状況の報告が診療の参考になった」との回答が多く、薬剤師のフォローアップが役立った情報として「患者の服薬状況」「残薬状況」「糖尿病薬の保管・管理状況」が最も多かった。

#### 2) 吸入薬のフォローアップ

吸入薬指導を薬局に指示した場合の医療機関が感じるメリットは「患者が正しく吸入できるようになった」「アドヒアランスの向上」「服薬状況の報告が診療に役立った」との回答が多く、「糖尿病」の場合と同様に薬剤師のフォローアップ情報も役立っていた。

#### 3) 服用期間中のフォローアップ

服用期間中にフォローアップを受けた患者は、調査を受けた患者全員が「良かった」と回答し、良かった点として、「薬剤師に服用後の症状や体調の経過に問題がないことを確認してもらい安心した」との回答が7割、「薬剤師に服薬状況や服薬に関する再指導をしてもらい安心できた」との回答が4割であった。

1) <https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000860749.pdf>

＜ポイント＞薬局業務による薬剤師の喜びは、投薬した薬剤が副作用なく有効に作用していることであり、その状況は、電話等での患者フォローで分かります。調査結果から、投薬後のフォローアップが患者にも医師にも、確かに役立っているようなので、患者フォローアップをできるだけ多くの患者に頑張りましょう。

## ヒヤリハット

### 注意！抗パーキンソン病薬の併用禁忌薬

抗パーキンソン病薬（以下抗PD薬と略）であるMAO-B阻害薬（セレギリン（エフピー<sup>®</sup>））、ラサギリン（アジレクト<sup>®</sup>）は各種抗うつ薬及び慢性疼痛鎮痛薬のトラマドール（トラマール<sup>®</sup>、ワントラム<sup>®</sup>）と併用禁忌ですが、当社の薬局で、最近、それを見逃して投薬した**ヒヤリハット事例が複数発生**しております。抗PD薬や抗うつ薬が処方されている処方箋を鑑査する場合は**それらの併用禁忌に特別な注意**を払って下さい。

MAO-B阻害薬と各種抗うつ薬はトラゾドンを除いたすべてが併用禁忌です。併用した場合にはセロトニン症候群が生じることがあります。

#### ＜セロトニン症候群<sup>1)</sup>＞

セロトニンに関係する作用を持つ薬によって出現する副作用で、精神症状（不安になる、混乱する、いらいらする、興奮する、動き回る等）、神経・筋症状（手足が勝手にびくびく動く、震える、体が固くなる等）、自律神経症状（汗をかく、熱がでる、下痢になる、脈が速くなる等）が見られることがある。発症は、服薬後数時間以内に症状が表れることが多い。服薬を中止すれば、通常は24時間以内に症状は消えるが、ごく稀に40℃以上の高熱が続き、横紋筋融解症や腎不全、播種性血管内凝固症候群（DIC）などの重篤な合併症を認め、命に関わることもあるので注意が必要です。



1) <https://www.pmda.go.jp/files/000240139.pdf>

## 個別指導における主な指導事項（薬局） - その1 -

東北厚生局から令和2年度の個別指導における主な指摘事項に関する報告を受けましたので、その主な点について、2,3回に分けてこのかわら版で紹介したいと思います。今回は、処方内容に関する指摘事項について、その一部をお知らせします。

#### ① 禁忌投薬が疑われるもの

- 重篤な心機能が疑われる患者にロコアテープ
- 重篤な腎機能が疑われる患者にロキソプロフェン錠
- 肝機能低下が疑われる患者にアトルバスタチン錠
- 高K血症が疑われる患者にスピロラクトン錠
- 喘息患者にアーチスト錠

#### ② 承認内容と異なる適応症の処方

- 抗生物質投与時の腸内細菌叢の異常による諸症状の改善のためでない「ピオフェルミンR錠」の投与
- 統合失調症が疑われる患者に対するマイスリー錠
- 統合失調症に伴う不眠症でソルピデム酒石酸塩錠

#### ③ 承認内容と異なる用量

- エクメット配合錠 HD 2錠
- ベタニス錠 50mg 2錠
- ロバスタチン錠 5mg 5錠
- 高齢者にフルニトラゼパム錠 2mg 2錠
- 高齢者にベルソムラ錠 20mg

#### ④ 承認内容と異なる用法

- アグラート CR錠 20mg 1日2回朝夕食後
- オロパタジン塩酸塩錠 5mg 及び OD錠 5mg 1日2回朝夕食後
- サインバルタ<sup>カ<sup>®</sup></sup> 20mg 3カ<sup>®</sup> 1日1回夕食後
- セレニカR顆粒 40% (1日2回朝夕食後)
- ディレグラ配合錠 4錠 1日2回朝夕食後
- ドキサゾシン錠 2mg 1日2回
- ユニフィルLA錠 200mg (1日1回就寝前)
- レボフロキサシン 250mg 1日2回朝夕食後
- ロキソプロフェン Na テープ 100mg 10cm×14cm 1日2回

なぜ指導を受けたかが分かりますか？  
添付文書などでチェックしましょう。